



Karatsu

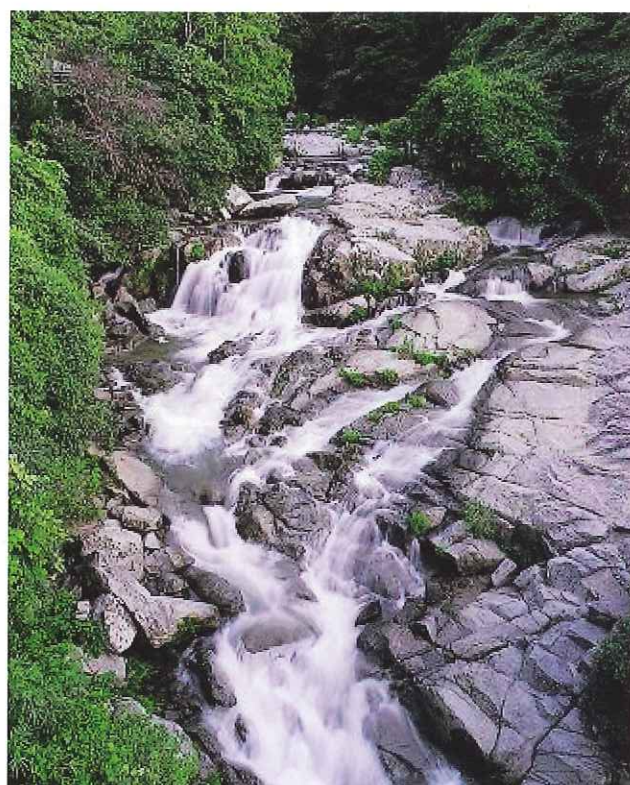
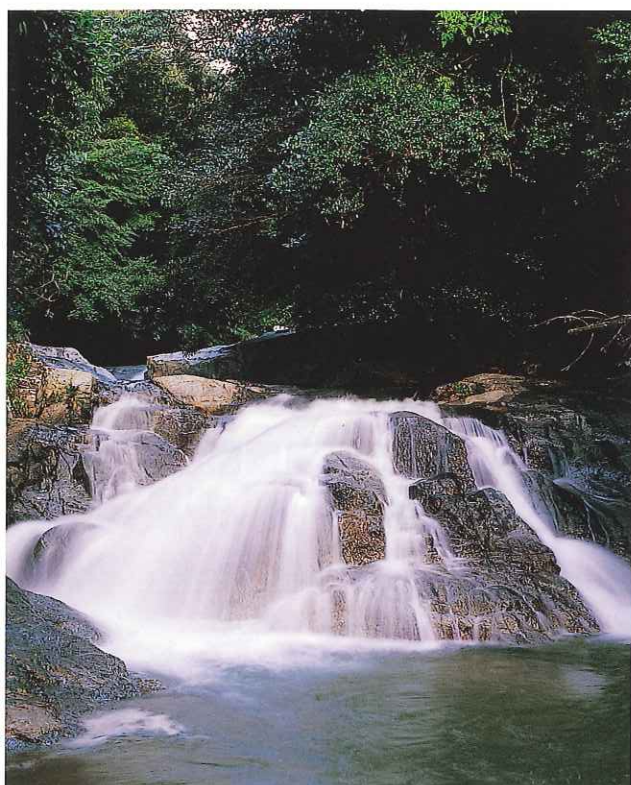
環境だより

VOL.

1

編集/発行：2007.8.1 唐津市環境対策課 TEL 0955-72-9124

「うみ・やま・かわ」の三つの豊かな自然と歴史や文化に恵まれた唐津市は、先人から受け継いだ唐津地域の豊かな環境をよりよくしていくと共に、次の世代に確実に引き継ぐため、健康で文化的な生活を営むことができる、環境に調和したまちづくりを進めています。



(七山 観音の滝付近)

地球温暖化防止

国連の学者の集まり(政府間パネル)によると、つい先日まで、このまま化石燃料(ガソリンなど)に依存し続けると、2100年には、気温が1.4～5.8℃上昇し、海面が9～88cm上昇と言われていました。しかし、平成19年2月2日の報告では、気温は2.4～6.4℃上昇し、海面上昇については最大59cmと予測が修正され発表されています。このような気温などの上昇は、過去1万年間に観測されたことがないほどの大きさである可能性が非常に高いと指摘され、地球温暖化の進行に伴い、人類の生活環境や生物の生息環境に大きな影響が生じるおそれがあります。

ガソリンなどを使わない生活、たとえば徒歩や自転車に切り替える、電気を節約する、物を大切にする、木を植えるなど、二酸化炭素(CO₂)の排出を抑えましょう。

環境月間

環境省の主唱により、平成3年度から6月の1ヵ月間を「環境月間」とし、全国で環境保全のための様々な活動が行われています。



環境の日 6月5日

1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定めており、日本では「環境基本法」で、毎年6月5日を「環境の日」と定めています。

唐津市のとりくみ

町田川及びその周辺の清掃

昭和59年から実施しており、今年で24回目になります。

今年は、6月4日(月)に住民の方、官公署、事業所、市職員総勢1,057名が参加して、町田川及びその周辺の清掃を行い、可燃ごみ2トン、不燃ごみ3トンを回収しました。



ラブアース・クリーンアップ2007

海や川や山をはじめとする、かけがえのないふる里の自然を、次代に引き継ぎ育むのは、現代に生きる私たちの使命でもあり責任でもあります。「ラブアース・クリーンアップ」とは、この素晴らしい自然を共有する私たちが、環境に優しい生活について考えると共に、美しい海岸や、海にそそぐ河川、青い海原と対比する松原や緑の山なみを守るための活動です。また、この活動は、九州各県の自治体と連携し、一斉に行われています。

今年は、6月10日(日)東の浜、西の浜、幸多里、相賀の浜、浜崎海岸などで、市民約7,500人が参加し、18.5トンのごみを回収しました。



「海・山・川と人が響きあう唐津」

うみ・やま・かわの恵みを受けながら生活している「唐津市民」にとって、海・山・川は、大切な宝です。みんなで守っていきましょう。

唐津市うみ・やま・かわ環境調和のまちづくり事業を実施中

唐津市の、すばらしい環境に恵まれた自然環境を守り、次の世代に引き継ぐことを目的とし、市民参加による自主的、主体的及び継続的に取り組む、自然環境と調和した活動を募集し、経費の2分の1に相当する額を補助しています。

平成18年度は6件の事業でしたが、今年度(平成19年度)の一次募集では、13件の事業を採択し、環境保全のためさまざまな活動を展開しています。

● 今年度の採択事業(一次募集分)

① 町田川自然再生事業	町田川いやしとにぎわいづくりの会
② 無人島「鳥島」清掃(秋の鳥島ゴミ、ゼロ大作戦)	鳥島を語ろう会
③ 下平野桜の山交流場整備事業	下平野 桜の会
④ 松浦川川辺の親水公園づくり	川辺の会
⑤ 大白木地域環境整備事業	大白木活力あるむらづくり推進委員会
⑥ 檜原湿原の保護・保全の調査、研究と広報活動	檜原湿原を守る会
⑦ 松葉を利用した屋上緑化事業	唐津土建工業株式会社 屋上緑化推進チーム
⑧ 虹の階段を中心とした鏡山環境保全プロジェクト	虹の郷
⑨ 虹の松原再生事業	ホワイトブルー虹
⑩ 島となぎさのピカピカ大作戦	レインボー七つの島連絡会議
⑪ 北波多の自然と歴史を守る事業	北波多の自然と歴史を守る会
⑫ ほたるを守りふやそう会	久里地区蛍をふやそう会
⑬ 鏡の郷をきれいに守り、健全な環境をつくろう！	鏡の環境を考える会

● 昨年度はこんな活動を助成しました

虹の松原再生事業

(団体名 ホワイトブルー虹)

玄海国定公園内にある国指定特別名勝「虹の松原」を後世に残すため、松葉かき、除草・雑木の除去などを行うとともに、「松露^{しょうろう}」が生育するような環境を保存していく活動を行いました。



環境の保全整備による環境教育推進事業

(団体名 自然と暮らしを考える研究会)

水車が回る用水路や横を流れる厳木川を拠点に、水辺の体験型の学習を推進し、環境保全と地域づくりを行いました。

この事業は、佐賀環境大賞で、優秀賞を受賞しました。

町田川自然再生事業

(団体名 町田川いやしとにぎわいづくりの会)

子供たちから年輩者までが、市街地を流れる町田川に触れ親しむことにより、川を身近に感じ、地域環境に関心を持っていただくこと。

また、川を自然環境の再生と地域のいやしと賑わいの場として活かし、未来へ継承することを目的として活動を行いました。



虹の階段を中心とした鏡山保全プロジェクト

(団体名 虹の郷^{にじさと})

虹の階段を中心に、鏡山の自然環境保全を図り、階段の両側に鏡山に自生する椿を植え、階段を使った駅伝を開催しました。

虹の階段を歩いて登ることにより、健康面や自然環境保全への意識が高まっています。



松葉を利用した屋上緑化事業

(団体名 唐津土建工業(株)屋上緑化推進チーム)

二酸化炭素の増加による地球温暖化とヒートアイランド現象による都市部の高温化が問題化しています。

そこで、その予防策のひとつとして、唐津の特性でもある松葉を利用した松葉炭で土壌を作り、屋上緑化に取り組みました。屋上緑化により、建物の輻射熱の抑制及び建物への断熱効果が期待でき冷暖房費の低減ができます。



食品残さの飼料化・肥料化試験

(団体名 みのり農場)

スーパーやホテル・病院などから出される生ごみ、食品残さを使い、豚の飼料としてどこまで活かせるかを試験し、焼却されるだけの生ごみを活かし、地域自給できる畜産を目指しています。試験の結果、十分に豚の餌として利用でき、その結果生ごみを減らし、餌の自給率を上げることができるとわかりました。



佐賀県唐津保健福祉事務所からのお願い

魚のへい死事故が発生しております。薬品(消毒剤・農薬等)の使用時には注意をお願いします。

2007.8.1 VOL.1 (4)